

学校だより

津久戸

平成29年10月2日

10月号 新宿区立津久戸小学校

読書のすすめ

副校長 内藤 徳子

厳しい暑さの続いた夏が過ぎ、台風や秋雨前線の影響で天候が不順だった9月が過ぎました。9月の学校公開にはたくさんの保護者の方や地域の方々においでいただき、ありがとうございました。いただいたアンケートからは、1学期からこれまでの子供たちの成長を様々な場面で感じ取っていただけたことがうかがえ、うれしく思います。

さて、季節は秋本番。10月に入ります。食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋…秋にはいろいろな楽しみ方があります。皆さんはどんな秋を楽しみますか。

ここでお勧めの一つ。秋の夜長に「親子で一緒に読書」はいかがでしょう。同じ本を読んでみるもよし、それぞれの本を読みながら、ただ同じ時間を過ごすもよし、また、読み聞かせをするもよし…。一日に長い時間を割くのではなく、例えば寝る前の15分程度を当ててみてはいかがでしょう。高学年になった子に読み聞かせ？とお感じになる方もいるかもしれませんが、12歳までは大いに読み聞かせをなささい、と勧める専門家も多くいます。実際、本校で月に一度ご協力いただいている朝の読み聞かせではどの学年の子供も実にいい顔をして聞いています。どのような形であれ、親子で本と一緒に時間を共有することは、何かしら素敵なコミュニケーションが生まれることと思います。

昨年も今年も、都内外の自治体等から、本校の図書館教育を参観・視察したいという申し出が多くあります。今年度は教員も図書館教育を中心として、児童の深い学びを追究する研究もしているところです。

パソコンやスマートフォンなどがますます身近になっている今日、紙に印刷されている活字に触れることは、それだけでも価値のあることのように感じます。

<つくだ文集より>

秋彼岸 先祖の墓を 掃除する

いわしぐも どこかかなたへ 消えていく

日光移動教室を終えて

9月25日から27日の3日間、6年生は日光移動教室に行ってきました。3日間とも天気にも恵まれ、行程通りに活動を行うことができました。

一日目は、日光だいや川公園でアスレチック体験と日光彫り体験をしました。日光の自然を体で感じながら楽しく活動を行うことができました。日光彫りでは、限られた時間の中で最後の最後まで夢中になって取り組んでいました。二日目は、美しい男体山を眺めながら戦場ヶ原ハイキングをしました。ガイドの方々から自然の移り変わりなどを、五感を使って学ぶことができ、貴重な学習となりました。三日目は、日光東照宮の見学をしました。大修復工事が終わった陽明門などの豪華な建造物を通して、歴史の重みを感じました。事前に調べた子供も多く、ガイドの方々の説明を聞き、学習を深めることができました。

小学校生活最後の宿泊学習に向け、短い時間の中で協力しながら準備したこと、そして子供たちが中心となって3日間を過ごしたことで、成長することができたと思います。それぞれが任された役割を、恥ずかしがらずに表現した様子からも成長を感じました。この移動教室で学んだことや身に付けた他者への関心、そして自分の殻を破り、友達と今を楽しむことを残りの小学校生活にも生かしてほしいと思います。

スクールカウンセラーから

今年度も二人体制で週3日(月、木 望月・金 本多)勤務させていただいております。中休みお昼休み、場合によっては放課後に相談室を開室し「ホッと一息つきにくる児童」や「遊びに来る児童」、「悩み事をもつ児童」への対応をしております。子どもたちはちょっとした友人トラブルや家庭などの愚痴を話しながら心の整理をしたり、取り立てて話さないけれどもホッとできる場所として心の荷下ろしをしたりしています。子どもはそれぞれの発達過程の中でさまざまな問題・課題に当たります。それに丁寧に対応することで成長を後押しできるように努めております。また、相談室では保護者の皆様からのご相談も受け付けております。学習のこと、家庭での様子など気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。SCは適切な助言ができるように校内でそれぞれの子どもの状態や友人関係を見守っております。家庭は子どもの根っこを育てる場所です。安心できる場所ですっきりと心を受け止めてもらえることが次の成長の糧となります。問題を整理しながら一緒にその方法を考えていければと思います。学校・家庭が協力してその成長を支えていければ幸いです。今年度も子どもたちの健やかな学校生活をサポートできる場として、相談室を運営していきたいと思っております。

算数少人数から

問 □に当てはまる数を、数字のみを使ってかきましよう。9枚の数字が書かれたカードを並べて、9桁の数をつくります。

0 0 0 0 0 1 2 3 4

9枚のカードを並べてできる9桁の数のうち、

2番目に大きい数は□です。

これは、今年度の都の学力調査で正答率が低かった問題です。一見すると、とても簡単のように思えます。しかしこの問題、よく考えないと大人もついうっかり間違えてまいます。

本校の児童は学力調査などでも良い結果を出しています。特に計算単元などは抜群です。しかし、できる、分かるというものを説明させると途端にたどたどしくなることがあります。簡単だ、という思い込みがケアレスミスにつながることもあります。

3年生以上の算数で行われる習熟度別少人数学習では、説明や作問等の発展的な学習を行ったり、必要に応じて既習事項の復習等、補充的な学習を行ったりまします。また、少人数になることで、発言や体験をする機会が増えたり、質問がしやすくなったり、教師からは一人ひとりに目が行き届きやすくなったりまします。「分かった。」「なるほど。」「おもしろい。」子どもたちのそんな声が溢れるように、また、確かな学力として力がつけられるように、授業の工夫・改善に努めてまいます。

10月の生活目標

『人の気持ちを大切にしよう』

- ・気持ちのよいあいさつをしよう。
- ・外で元気に遊ぼう。
- ・友だちどうし助け合おう。
- ・言葉づかいをきちんとしよう。

言葉には、大きな力があります。励ます言葉、なぐさめる言葉、温かな言葉、乱暴な言葉、ていねいな言葉、冷たい言葉等々、その言葉や言い方で、相手の気持ちを救うこともあれば、悲しませることもあります。そして、その言葉を放った自分自身もその言葉で明るくなったり、ささくれたりするのです。言葉のもつ力に気付いて、遊ぶとき、掃除や当番のとき、学習で話し合うとき、様々な場面で人の気持ちを大切にする言葉を使えるように、意識して生活ましよう。

挨拶にも不思議な力があります。挨拶が気持ちよくできる人は、その力をよく知っているのでしょうか。

まず、心と目を向けて、朝の挨拶から始めましよう。

(生活指導部)